



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 関東電化工業株式会社  
 コード番号 4047 URL <http://www.kantodenka.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 淳一  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員法務・総務部長 (氏名) 浦本 邦彦  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3257-0371

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	11,510	9.1	2,411	9.8	2,437	15.0	1,699	20.2
29年3月期第1四半期	10,551	1.3	2,196	21.9	2,119	12.4	1,413	3.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,017百万円 (159.7%) 29年3月期第1四半期 776百万円 (56.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	29.55	
29年3月期第1四半期	24.57	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	60,599	34,877	55.7	586.91
29年3月期	60,790	33,169	52.7	557.17

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 33,761百万円 29年3月期 32,050百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		4.00		5.00	9.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,300	13.9	3,700	9.2	3,750	6.7	2,650	1.9	46.07
通期	50,400	9.5	7,000	25.2	7,100	24.6	4,650	30.5	80.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	57,546,050 株	29年3月期	57,546,050 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	22,530 株	29年3月期	22,530 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	57,523,520 株	29年3月期1Q	57,524,763 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(四半期連結損益計算書).....	6
(四半期連結包括利益計算書).....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用).....	8
(セグメント情報).....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続きました。一方、海外においては、中国ならびにアジア新興国経済の景気下振れリスクのほか、金融資本市場の変動リスクについても留意する必要があると、先行き不透明な状況が続いています。

このようななか、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、精密化学品事業部門が、販売数量の増加により増収となったため、115億10百万円と前年同期に比べ9億58百万円、9.1%の増加となりました。損益につきましては、経常利益は24億37百万円と前年同期に比べ3億17百万円、15.0%の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は16億99百万円と前年同期に比べ2億86百万円、20.2%の増加となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### ① 基礎化学品事業部門

か性ソーダは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。塩酸は、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。

塩素系有機製品につきましては、トリクロールエチレンおよびパークロールエチレンは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業部門の売上高は、15億49百万円となり、前年同期に比べ20百万円、1.4%の増加となりました。営業損益につきましては、原燃料費用の上昇等により、営業利益78百万円となり、前年同期に比べ1億51百万円、66.0%の減少となりました。

#### ② 精密化学品事業部門

半導体・液晶用特殊ガス類につきましては、三フッ化窒素は、販売価格は低下したものの販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。六フッ化タングステンは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。電池材料の六フッ化リン酸リチウムは、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、精密化学品事業部門の売上高は、83億20百万円となり、前年同期に比べ6億38百万円、8.3%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益21億06百万円となり、前年同期に比べ2億90百万円、16.0%の増加となりました。

#### ③ 鉄系事業部門

複写機・プリンターの現像剤用であるキャリアーは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。鉄酸化物は、着色剤の販売増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、鉄系事業部門の売上高は、6億50百万円となり、前年同期に比べ55百万円、9.2%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益1億73百万円となり、前年同期に比べ84百万円、94.1%の増加となりました。

#### ④ 商事事業部門

商事事業につきましては、化学工業薬品の販売増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、商事事業部門の売上高は、5億74百万円となり、前年同期に比べ95百万円、19.9%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益40百万円となり、前年同期に比べ7百万円、16.3%の減少となりました。

#### ⑤ 設備事業部門

化学設備プラントおよび一般産業用プラント建設の売上高は、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、設備事業部門の売上高は、4億14百万円となり、前年同期に比べ1億48百万円、56.0%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益39百万円となり、前年同期に比べ36百万円の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、棚卸資産および有形固定資産が増加した一方、現金及び預金や受取手形及び売掛金、流動資産のその他が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ1億91百万円減少し、605億99百万円となりました。負債は、借入金や未払法人税等、支払手形及び買掛金が減少したことなどから18億99百万円減少し、257億21百万円となりました。純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどから17億08百万円増加し、348億77百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末の52.7%から55.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成29年5月15日付にて公表しました業績予想を修正しております。詳しくは、別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,520	8,737
受取手形及び売掛金	12,773	11,936
商品及び製品	2,567	2,774
仕掛品	3,551	4,947
原材料及び貯蔵品	2,038	2,208
その他	1,848	1,431
貸倒引当金	△17	△17
流動資産合計	33,282	32,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,702	5,861
機械装置及び運搬具(純額)	6,516	7,153
その他(純額)	6,669	6,647
有形固定資産合計	18,888	19,663
無形固定資産	408	519
投資その他の資産		
投資有価証券	7,325	7,578
その他	890	823
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	8,211	8,397
固定資産合計	27,508	28,581
資産合計	60,790	60,599

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,908	6,641
短期借入金	4,683	4,751
1年内返済予定の長期借入金	3,869	3,175
未払法人税等	1,612	783
役員賞与引当金	96	—
その他	4,474	4,695
流動負債合計	21,644	20,045
固定負債		
長期借入金	3,926	3,617
役員退職慰労引当金	113	116
退職給付に係る負債	1,664	1,676
その他	273	265
固定負債合計	5,977	5,675
負債合計	27,621	25,721
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,877	2,877
資本剰余金	1,816	1,816
利益剰余金	25,169	26,581
自己株式	△12	△12
株主資本合計	29,851	31,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,257	2,429
為替換算調整勘定	50	167
退職給付に係る調整累計額	△108	△99
その他の包括利益累計額合計	2,199	2,497
非支配株主持分	1,118	1,116
純資産合計	33,169	34,877
負債純資産合計	60,790	60,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	10,551	11,510
売上原価	6,796	7,480
売上総利益	3,755	4,030
販売費及び一般管理費	1,559	1,619
営業利益	2,196	2,411
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	85	97
デリバティブ評価益	—	53
試作品等売却代	24	—
その他	28	64
営業外収益合計	139	218
営業外費用		
支払利息	45	32
為替差損	139	142
その他	31	17
営業外費用合計	216	192
経常利益	2,119	2,437
特別損失		
固定資産除却損	31	23
特別損失合計	31	23
税金等調整前四半期純利益	2,088	2,414
法人税等	653	709
四半期純利益	1,434	1,704
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,413	1,699



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,434	1,704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△512	174
為替換算調整勘定	△159	128
退職給付に係る調整額	14	9
その他の包括利益合計	△657	312
四半期包括利益	776	2,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	789	1,998
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	基礎化学品 事業	精密化学品 事業	鉄系事業	商事事業	設備事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,528	7,682	595	479	265	10,551	—	10,551
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	277	41	11	841	183	1,356	△1,356	—
計	1,806	7,724	607	1,320	449	11,907	△1,356	10,551
セグメント利益	229	1,816	89	48	2	2,185	10	2,196

(注) 1. セグメント利益の調整額10百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	基礎化学品 事業	精密化学品 事業	鉄系事業	商事事業	設備事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,549	8,320	650	574	414	11,510	—	11,510
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	302	47	37	867	594	1,849	△1,849	—
計	1,852	8,368	688	1,441	1,009	13,359	△1,849	11,510
セグメント利益	78	2,106	173	40	39	2,437	△26	2,411

(注) 1. セグメント利益の調整額△26百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。